

## 第 6 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

6 年 2 組 指 導 者 岡 崎 典 子

### 題 材 浮世絵の「ここが気になる」展覧会

#### 1 本題材について

本学級の子どもたちは、「心の中の美術館」において、親しみのある絵画などの美術作品を見て、感じた印象や感想を、自分なりの形や色で絵に表す体験をしている。その学習の中で、作品全体から感じた印象や感想のイメージが表れるように、形や色を自分なりに思い浮かべ、表し方を考える姿が見られた。また、仲間が表した作品から、仲間がもった印象や感想などを想像し、表現の意図を感じ取る姿も見られた。このような子どもたちが、日本の伝統文化である浮世絵に出会い、形や色などを手がかりに、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりすることは、自分なりの感じ方や見方を深めることにつながると考えた。

本題材は、江戸時代の浮世絵を鑑賞し、形や色などから表現の意図や特徴をとらえ、表し方を工夫しながら浮世絵のよさや美しさを見つけていく学習である。まず、浮世絵の図版を印刷したものを鑑賞し、作品全体の印象をとらえるだけでなく、細かい部分の特徴に着目し、形や色などで表されていることについて考えを交流する。次に、美術館に展示してある浮世絵と出会い、実物の大きさや質感、色の感じを実感しながら鑑賞する。また、学芸員とのかかわりをもとに、自分なりの視点をもって表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりする。そして、感じ取った浮世絵のよさや美しさを、材料や用具を工夫しながら表現し、伝えていこうとするのである。

以上のような学びにおいて、子どもたちが、これまでに見たことや感じたことを工夫して表現してきた経験を生かしながら、自らが感じた浮世絵のよさや美しさを造形的な特徴をもとに表現し、伝え合うことを大切に、自分なりの感じ方や見方を深めていくことにつなげていきたい。そこで、以下のような支援を具体化する。

- 題材の導入で、浮世絵の「気になる」一部分をタブレット端末で拡大して紹介し合う活動を仕組むことで、作品に表された形や色など、複数の視点に気付くことができるようにする。
- 浮世絵の写真に、どのような視点で「気になる」と感じているのかを言葉で書き込みを促すことで、自分の感じ方や見方について、理解を深めることができるようにする。
- 子どもたち一人ひとりが見た、それぞれの視点から感じたことを交流する場を設定する。その上で、子どもたちの発言を「線の重なり」「ものの重なり」「色の変化」「斜めの線」など、浮世絵の表し方の特徴を類別して示す。そうすることで、様々な感じ方や見方があることにふれることができるようにする。
- 試しの製作活動を行う際には、表し方をもとにしたグループをつくるようにすることで、表し方について伝え合ったり見合ったりしながら取り組めるようにする。
- 浮世絵のよさや美しさを表す際に、扱いやすい材料や用具を準備しておく。その上で、試しの製作活動を行いながら表し方の工夫について話し合うよう促す。そうすることで、伝えたい浮世絵のよさや美しさを造形的な特徴とつなげて自分なりに表現できるようにする。

## 2 目 標

- 浮世絵を鑑賞し、浮世絵の「気になる」部分を材料や用具を使って表しながら伝え合い、表現の意図や特徴についてとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりすることができるようにする。
- 仲間と、鑑賞したことを交流する中で、親しみのある美術作品を見ることの楽しさを味わうことができるようにする。

## 3 評価規準

関心・意欲・態度（関）	発想や構想の能力（発）	創造的な技能（技）	鑑賞の能力（鑑）
○親しみのある美術作品に関心を持ち、その美しさや表し方のよさなどを自分の思いをもって味わおうとしている。	○表したいことを見付け、形や色、特徴や構成の美しさを感じ、主題の表し方を構想し、自分が選んだ材料や用具の特徴を生かして、表し方を考える。	○感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫して表している。	○親しみのある美術作品の形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたりよさや美しさを感じ取ったりしている。

## 4 指導計画 26M（9時間）が本時

学習活動	子どもの意識
<b>第1次 浮世絵の「気になる」部分について話し合い、学習の見通しをもつ 11M（4時間）</b>	
<b>学習内容</b> ・表現の意図や特徴への気付き（鑑） ・鑑賞したことを基に形や色で表すことへの関心（関）	
<input type="checkbox"/> 浮世絵を鑑賞したことをもとに、「気になる部分」について話し合う （6M）  <input type="checkbox"/> 美術館で浮世絵を鑑賞する （5M）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見たことがある浮世絵があるね。浮世絵は版画なのだね。絵の全体を見ると、シンプルな形や色ですっきりしているな。色がだんだん変わっているところがきれいだな。それに、ひとつひとつの物の形が細かいなあ。タブレットで拡大してよく見ると、人がたくさんいるよ。先生は、「名所江戸百景大はしあたけの夕立」をいろいろな部分を拡大して見て、雨の線が重なっているのが気になったのだね。「線の重なり」を表すのに、透明シートを使って、1枚目は斜めの線を薄くかいて、2枚目は真っ直ぐに近い線を濃くかいて、重ねているよ。なるほど、浮世絵を見ると、そうになっているね。わたしたちも、浮世絵の「気になる」部分を表してみたいな。</li> <li>・図工室でみんなで見えた浮世絵があるよ。遠くの景色までかかれていたから、もっと大きな作品だと思ったけど、小さい作品なのだね。色が鮮やかでとてもきれいだなあ。近づいて見ると、細かいところまではっきりとよく分かるよ。江戸時代の人たちは、どうやって版画を彫り、刷っていたのかな。学芸員さんに聞いてみたよ。浮世絵は、いくつも版を重ねて刷ることで、線や色の重なりが生まれるのだから。浮世絵をつくってみたくなったよ。わたしは、「富嶽三十六景 凱風快晴」の山の色がだんだん変わっていくところを表してみたいな。美術館でもらったポスターのように、みんなの「気になる」ところを表して、浮世絵を紹介するポスターをつくるのだね。楽しそうだな。</li> </ul>

第2次 浮世絵のよさや美しさを伝える表し方を工夫する

12 M(4時間)

学習内容 ・表したいことを思い付くこと(発) ・形や色、描画材料の工夫(技)

<p>□鑑賞したことをもとに、材料や用具を使って試しながら構想を練る (3M)</p>	<p>・「富嶽三十六景 凱風快晴」の山の色がだんだん変わっていくところがきれいだと思ったよ。山の上の方が赤色に変わっているのは、太陽の光が当たっているからなのかな。下の方は赤色がうすくなって、緑に近づいているね。絵の具で試してみよう。なかなかきれいに色が変わらないな。どうすればいいのかな。</p>
<p>□表したいことを交流し、表し方を試しながら構想を練る (3M)</p>	<p>・私は、「山の赤色から緑色にだんだん変わるところ」を表してみようと思っているのだけど、うまくいかないよ。私と同じようにだんだん変化するところが表したい人もいるね。2つの色がだんだん変化していくように見せるにはどうしたらいいのかな。Bさんが、はけをつかって最初に画用紙をぬらしておくとか色がきれいに混ざると教えてくれたよ。さっそくやってみよう。できた、浮世絵のように、だんだんと色が変わっていったよ。</p>
<p>□表したものを、作品ごとのポスターにまとめる (6M)</p>	<p>・同じ浮世絵の作品を選んだ人たちと一緒に、よさや美しさを伝えるポスターをつくろう。大判用紙の真ん中に浮世絵の作品の写真を貼って、周りに解説を書こう。山の色がだんだん変わっている近くには、前の時間に私がかいた紙を貼るよ。Cくんは、雲の形をちぎり絵で表したのだね。一つ一つの形の面白さが表れているね。それを雲の近くに貼ろうよ。一つの作品をグループで見ること、こんなにもよさや美しさに気付くことができたね。このポスターをクラスの人みんなに見せて、「富嶽三十六景 凱風快晴」のよさや美しさを伝えたいな。</p>

第3次 浮世絵のよさや美しさを伝え合う

3 M(1時間)

学習内容 ・表現の意図や特徴への気付き(鑑)

<p>□浮世絵のよさや美しさを伝え合う (3M)</p>	<p>・他の作品を紹介してあるポスターも見てみよう。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は、波の形の細かい部分を自分でもかいた人がいるな。すごいなあ。波と波の間に舟にのった人たちがいる部分を厚紙を重ねて作っている人もいるよ。動きが感じられるね。この作品にも、色がだんだん変わっているきれいな部分があるね。どの浮世絵も、形が繊細で微妙に色が変わっている美しさがあるな。だから、外国の人でも浮世絵のそのようなところに注目したのだな。みんなのポスターを見て、もう一度、実物を見たくなったよ。もっと、たくさんの人たちに、浮世絵のよさや美しさを伝えたいな。</p>
------------------------------	--

**5 本時案 【平成26年6月23日 10:30~11:15 図工室】**

(1) ねらい 浮世絵の形や色などの特徴をもとに、材料・用具を使って表し方を試しながら伝え合ったり見合ったりし、自分が感じた浮世絵のよさや美しさが伝わるような表し方の構想を練ることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p><b>① 浮世絵の「気になる」部分の表し方について話し合う (10分)</b></p> <p>学習内容 ・鑑賞したことを基に形や色で表すことへの関心 (関) ・表したいことを思い付くこと (発)</p>	<p>○造形的な特徴から「気になる」部分の表し方を視点にグループを構成することで、困っている点や工夫している点を話し合いながら、試しの製作活動ができるようにする。</p>
<p>A 私は「富嶽三十六景凱風快晴」の山の色を表してみたいのだけど、なかなかうまく2色がだんだん混ざらないよ。どうすればいいのかな。</p> <p>C わたしは、「東海道五拾三次庄野白雨」の林が風でなびいているところを表してみたいよ。色を三段階に分けたいので、何を使って表すか試してみたいよ。</p>	<p>○表したいことが似ているグループで材料を使って表し方を試してみるように促すことで、表し方について具体的な方法を考えることができるようにする。</p>
<p><b>② 材料や用具を使って表し方を試し、構想を練る (28分)</b></p> <p>学習内容 ・表し方を考えること (発)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>表したいことが似ている人たちと一緒に、表し方を試しながら考えてみましょう。</p> </div> <p>(色の変化を表すグループ)</p> <p>B Aさんと選んだ作品は違うけど、私も2つの色がだんだん変わるところがきれいだなと思ったので、試してみたよ。はけを使って、最初に画用紙をぬらしておいてから、2本の筆で色をぬるとうまく混ざったよ。一緒にやってみよう。</p> <p>A 本当だ、きれいに混ざってだんだん色が変わってきたよ。何枚かやってみよう。一番、この浮世絵の色の変化に近いのが見つかったよ。</p> <p>・他の表し方でも色の変化を表せないかな。</p> <p>C 林の形を画用紙にかいて切っておいて、その上からスパッタリングをしたよ。紙をずらしていくと色の濃さが三段階になるよ。</p>	<p>○選んだ浮世絵の部分を拡大している写真や選んだ理由が書いてあるワークシートを傍らに置いて見ながら活動するように促すことで、自分や仲間が表そうとしている造形的な特徴に立ち返りながら表すことができるようにする。</p>
<p><b>③ 本時の学習活動を振り返る (7分)</b></p> <p>学習内容 ・表現の意図や特徴をとらえること (鑑) ・鑑賞したことを基に形や色で表すことへの関心 (関)</p> <p>・材料や用具を使って、グループで試しながら考えてみて、表し方が分かったよ。</p> <p>A 私は、前の時間には、「富嶽三十六景 凱風快晴」の色の変化を伝えたいと思ってうまくいかなかったのだけど、Bさんと、はけを使って画用紙をぬらしてから色をつけると、2つの色がきれいに混ざっていったよ。</p> <p>・次の時間に、今日かいたものを使って、同じ作品を選んだ人とポスターをつくっていききたいな。</p>	<p>○どのように表したらよいのか思い付いたり考えたりしたことを振り返るよう促すことで、自分の思いを深め、仲間と学び合うよさを自覚できるようにする。</p>